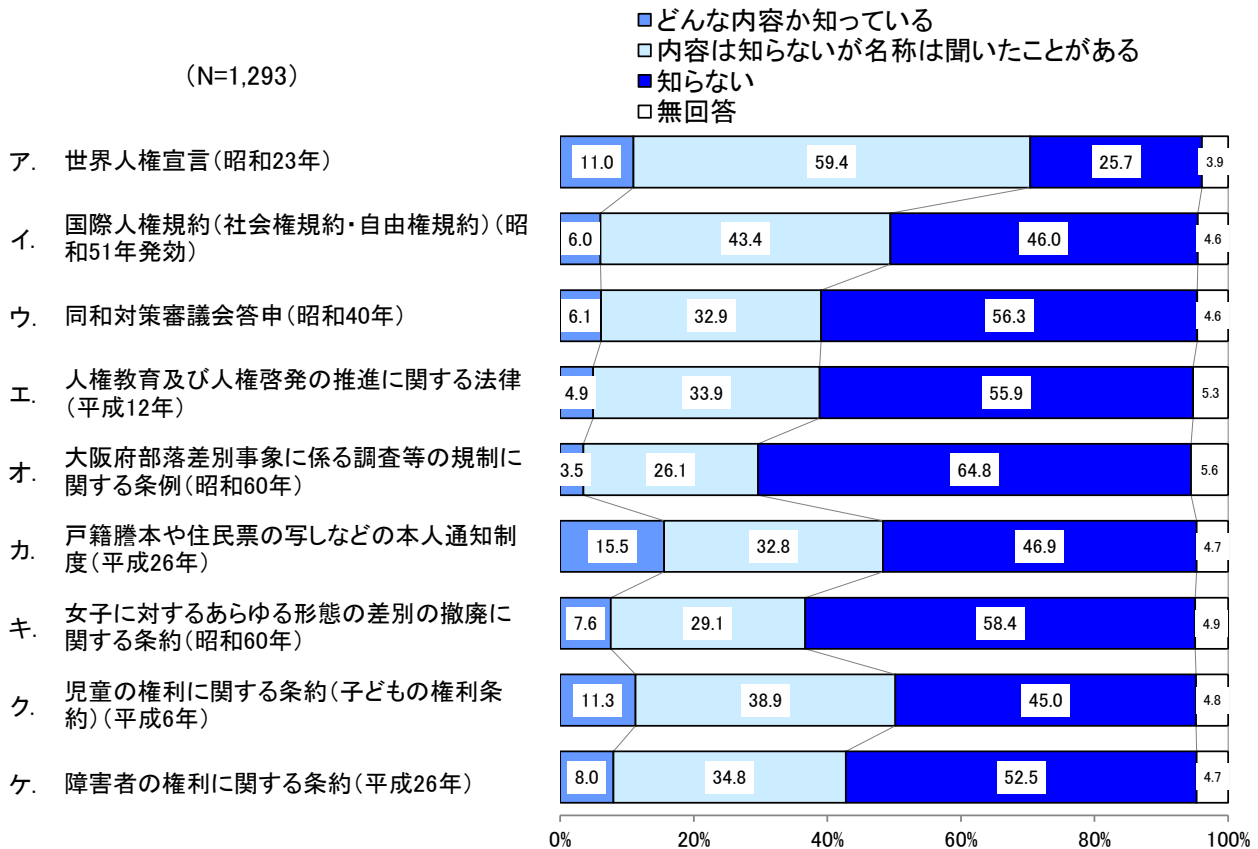


(1) 人権に関する宣言、法律、条約等の認知状況

問 43 あなたは、次の人権に関する宣言や法律、条約等について、どの程度知っていますか。
(それぞれあてはまる番号 1 つに○)

【図表 10-1 人権に関する宣言、法律、条約等の認知状況】

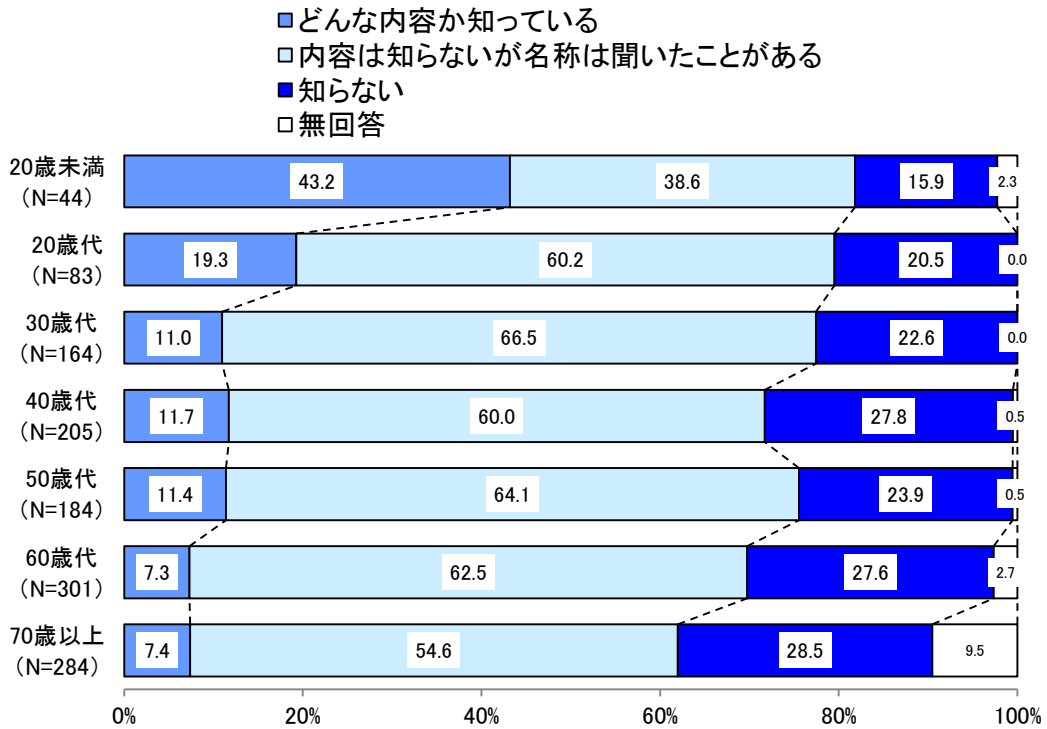
(N=1,293)



人権に関する宣言、法律、条約等の認知状況については、「ア. 世界人権宣言 (昭和 23 年)」を除きいずれの項目でも「知らない」が最も高くなっている。また「どんな内容か知っている」はいずれの項目でも 2 割を下回っている。

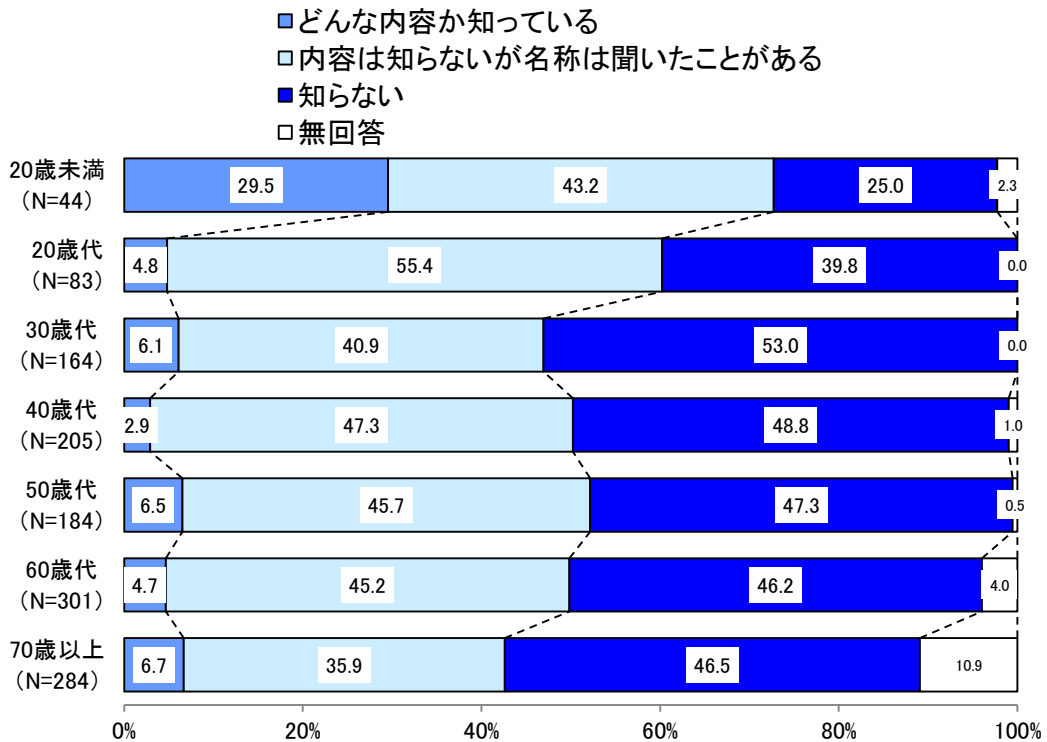
「知らない」が過半数を占めている項目は、割合が高い順に「オ. 大阪府部落差別事象に係る調査等の規制に関する条例 (昭和 60 年)」(64.8%)、「キ. 女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約 (昭和 60 年)」(58.4%)、「ウ. 同和対策審議会答申 (昭和 40 年)」(56.3%)、「エ. 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 (平成 12 年)」(55.9%)、「ケ. 障害者の権利に関する条約 (平成 26 年)」(52.5%)となっている。(図表 10-1)

【図表 10-1-1 年齢別 ア.世界人権宣言（昭和 23 年）】



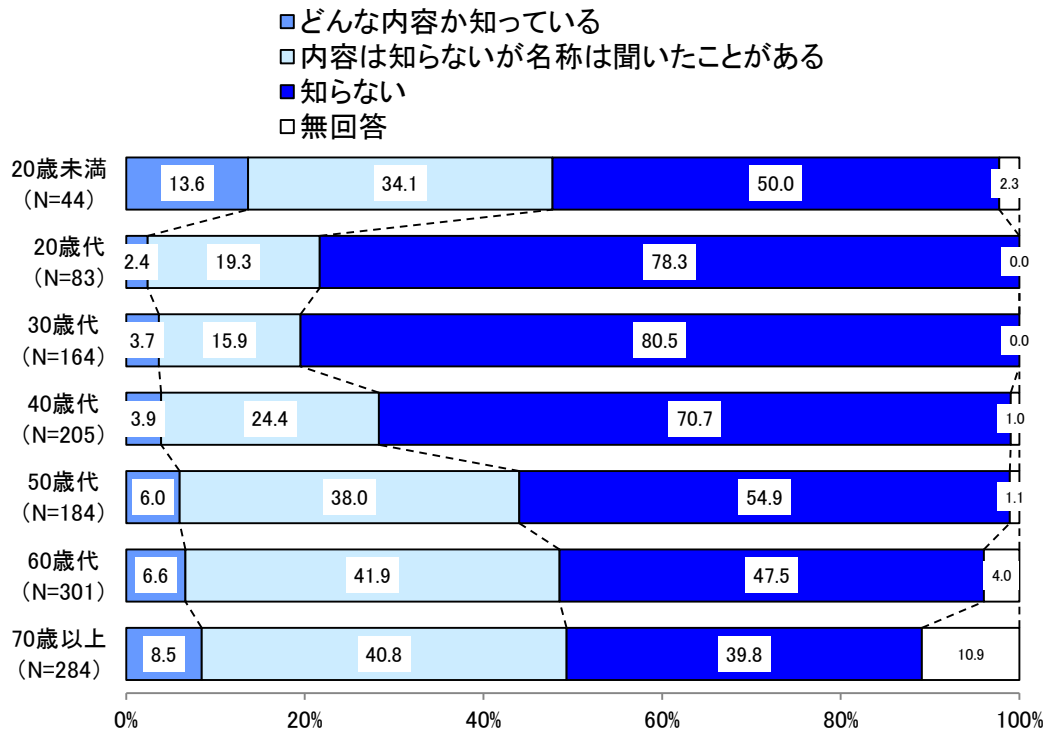
「ア.世界人権宣言（昭和 23 年）」を年齢別で見ると、「どんな内容か知っている」は 20 歳代では約 2 割、30 歳代以上では約 1 割だが、20 歳未満では約 4 割となっており、20 歳未満が他の年齢を大きく上回っている。「知らない」はおおむね年齢が上がるにつれて高くなり、20 歳未満では 15.9%だが、70 歳以上では 28.5%となっている。（図表 10-1-1）

【図表 10-1-2 年齢別 イ.国際人権規約（社会権規約・自由権規約）（昭和 51 年発効）】



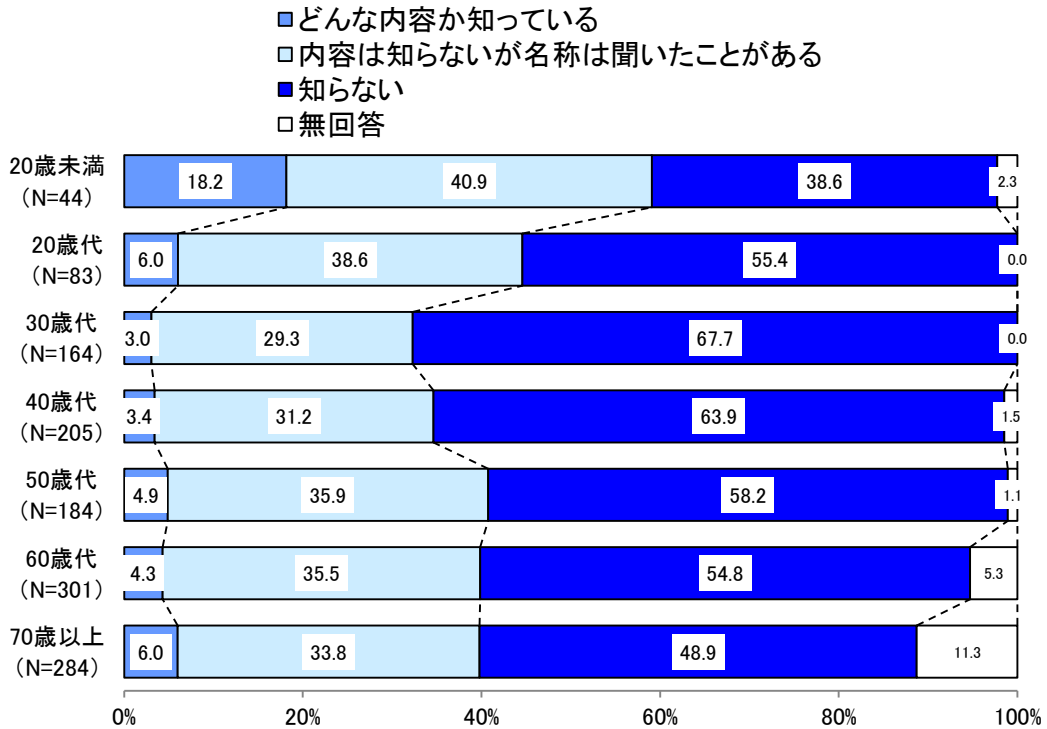
「イ.国際人権規約（社会権規約・自由権規約）（昭和 51 年発効）」を年齢別で見ると、「どんな内容か知っている」は 20 歳代以上では 1 割未満だが、20 歳未満では約 3 割となっており、20 歳未満が他の年齢を大きく上回っている。「知らない」は 20 歳未満では 2 割あまり、20 歳代では約 4 割、30 歳代以上では約 5 割となっている。（図表 10-1-2）

【図表 10-1-3 年齢別 ウ. 同和対策審議会答申（昭和 40 年）】



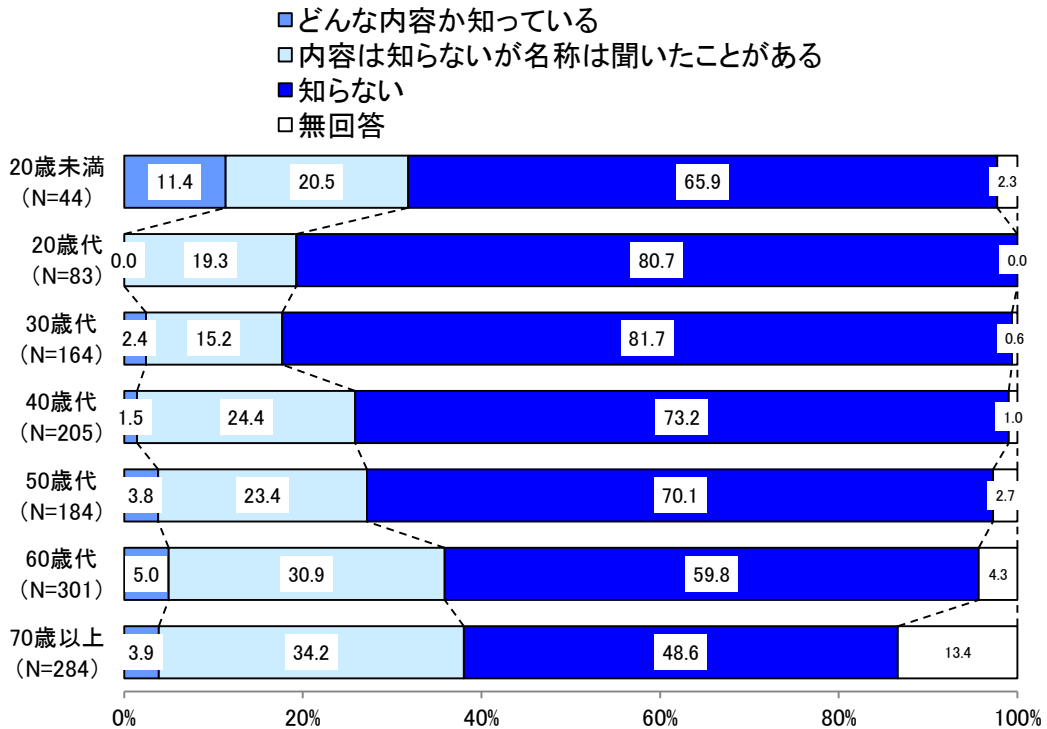
「ウ. 同和対策審議会答申（昭和 40 年）」を年齢別で見ると、20 歳代以上ではおおむね年齢が上がるにつれて「どんな内容か知っている」と「内容は知らないが名称は聞いたことがある」が高くなり、「知らない」が低くなっている。20 歳代と 30 歳代は「知らない」が約 8 割を占めている。20 歳未満は「どんな内容か知っている」が最も高い年齢だが、それでも 13.6%にとどまっており、また「知らない」が半数を占めている。(図表 10-1-3)

【図表 10-1-4 年齢別 エ. 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律（平成 12 年）】



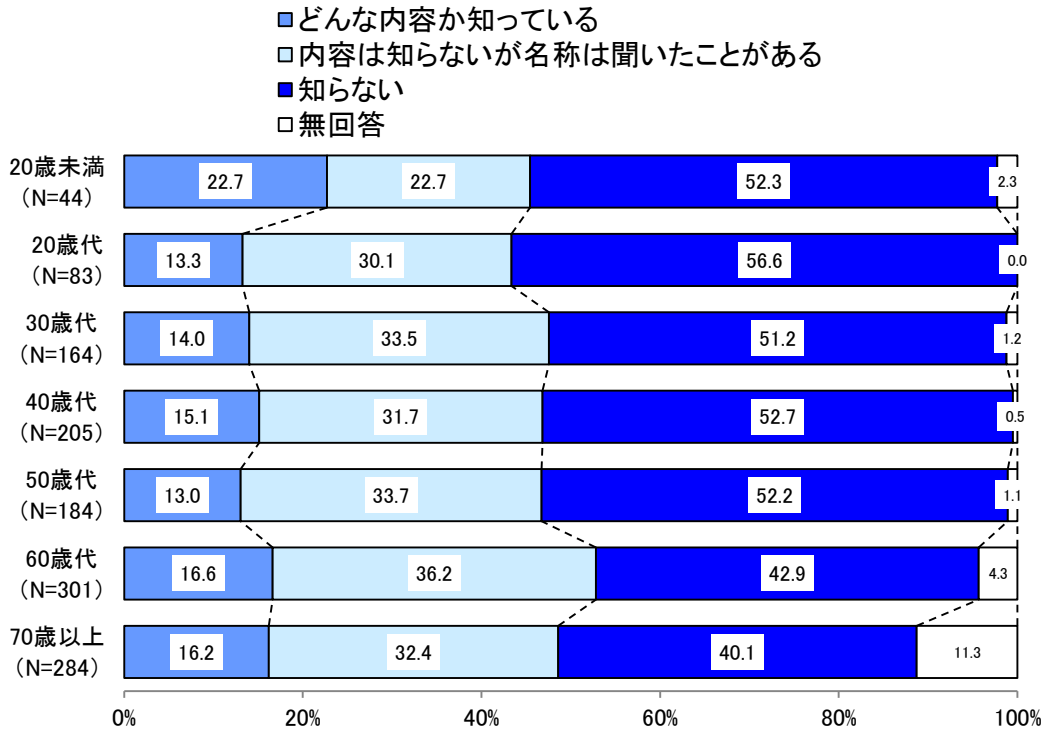
「エ. 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律（平成 12 年）」を年齢別で見ると、「どんな内容か知っている」は 20 歳未満では約 2 割だが、20 歳代以上では 1 割を下回っている。「知らない」は 30 歳代の 67.7% を頂点に年齢が下がるまたは上がるにつれて低くなっている。（図表 10-1-4）

【図表 10-1-5 年齢別 オ. 大阪府部落差別事象に係る調査等の規制に関する条例（昭和 60 年）】



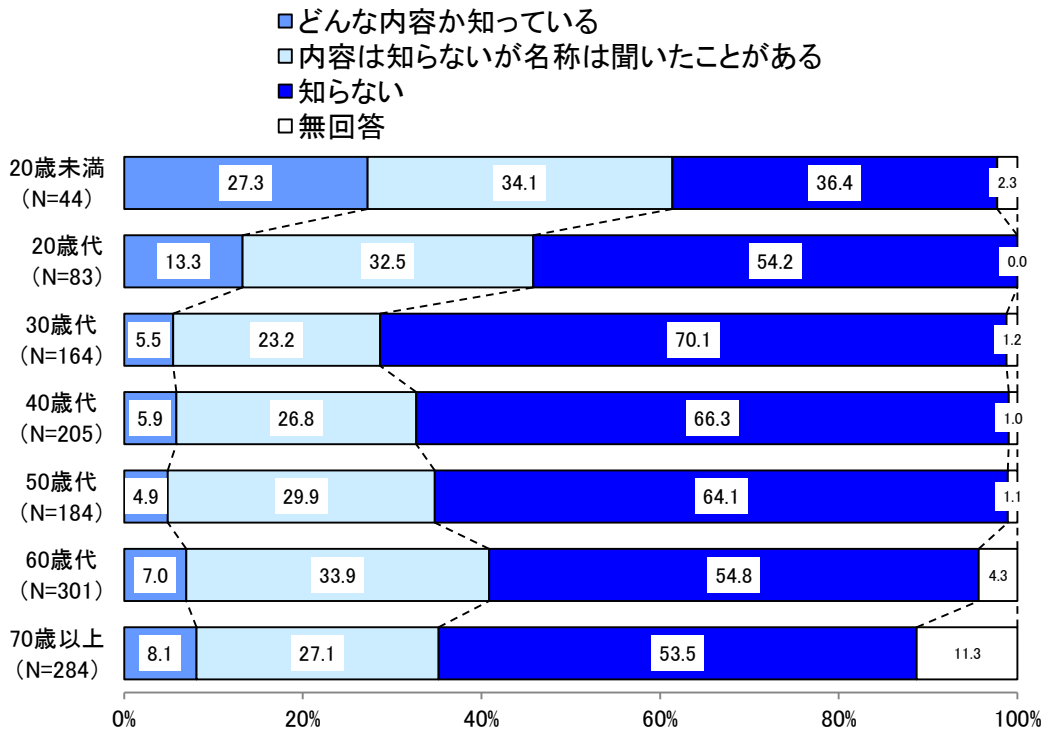
「オ. 大阪府部落差別事象に係る調査等の規制に関する条例（昭和 60 年）」を年齢別で見ると、「どんな内容か知っている」は 20 歳未満では 11.4% だが、20 歳代以上では 5% 以下となっている。「知らない」は 30 歳代の 81.7% を頂点に年齢が下がるまたは上がるにつれて低くなっている。（図表 10-1-5）

【図表 10-1-6 年齢別 カ. 戸籍謄本や住民票の写しなどの本人通知制度（平成 26 年）】



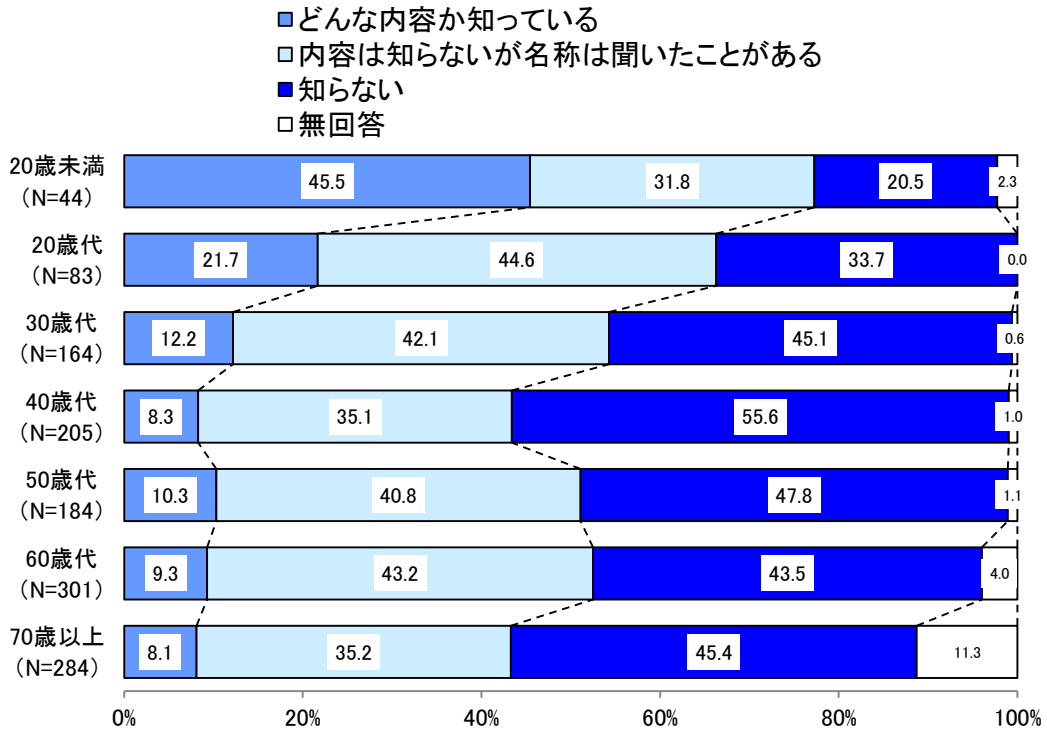
「カ. 戸籍謄本や住民票の写しなどの本人通知制度（平成 26 年）」を年齢別で見ると、「どんな内容か知っている」は 20 歳未満では 2 割あまりだが、20 歳代以上では 2 割を下回っている。「知らない」は 50 歳代以下では 5 割台、60 歳代以上では 4 割台となっている。（図表 10-1-6）

【図表 10-1-7 年齢別 キ. 女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約（昭和 60 年）】



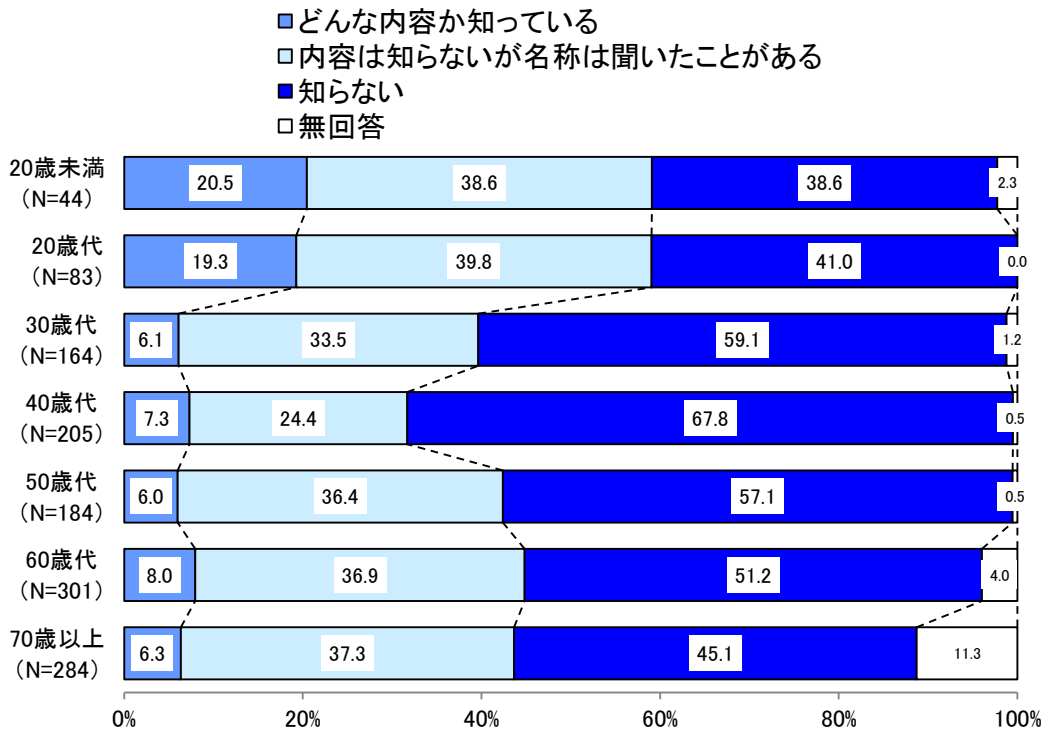
「キ. 女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約（昭和 60 年）」を年齢別で見ると、「どんな内容か知っている」は 20 歳未満では約 3 割だが、20 歳代では 1 割あまり、30 歳代以上では 1 割を下回っている。「知らない」は 30 歳代の 70.1% を頂点に年齢が下がるまたは上がるにつれて低くなっている。（図表 10-1-7）

【図表 10-1-8 年齢別 ク. 児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）（平成 6 年）】



「ク. 児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）（平成 6 年）」を年齢別で見ると、「どんな内容か知っている」は 20 歳未満では 4 割を超えているが、20 歳代では約 2 割、30 歳代以上では 1 割前後となっている。「知らない」は 40 歳代の 55.6% を頂点に年齢が下がるまたは上がるにつれておおむね低くなっている。（図表 10-1-8）

【図表 10-1-9 年齢別 ケ. 障害者の権利に関する条約（平成 26 年）】

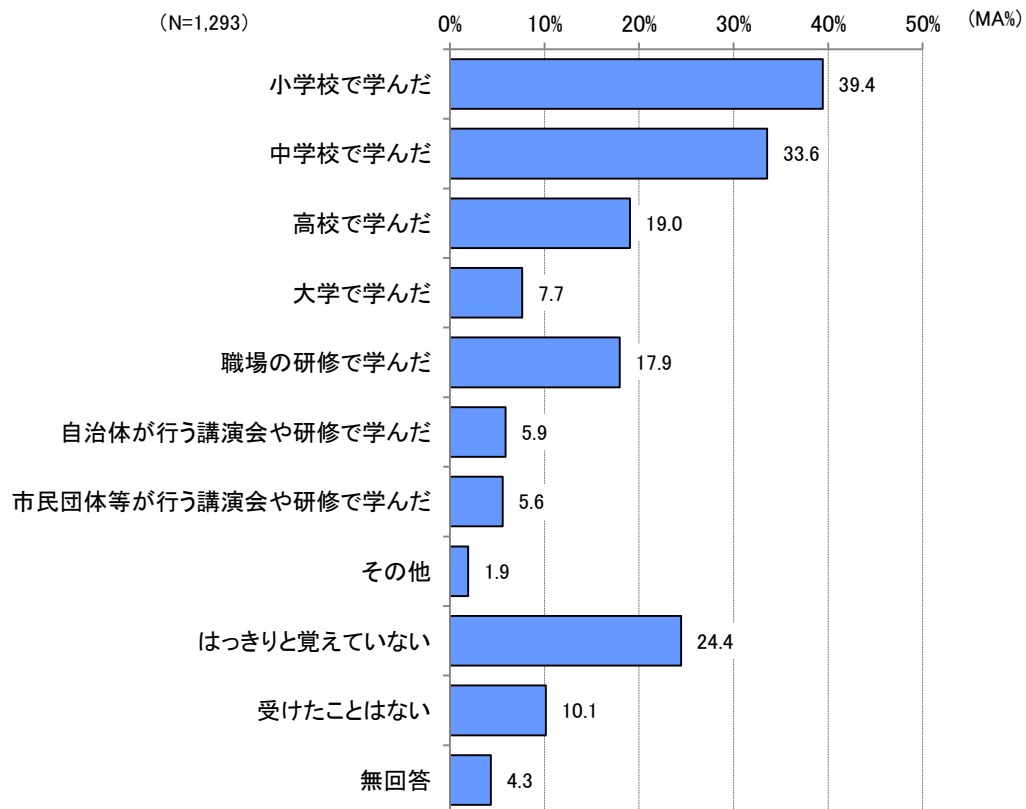


「ケ. 障害者の権利に関する条約（平成 26 年）」を年齢別で見ると、「どんな内容か知っている」は 20 歳代以下では約 2 割だが、30 歳代以上では 1 割を下回っている。「知らない」は 40 歳代の 67.8% を頂点に年齢が下がるまたは上がるにつれて低くなっている。（図表 10-1-9）

(2) 人権についての学習の経験

問 44 あなたは、学校、職場および地域で、人権についての学びを経験したことがありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

【図表 10-2 人権についての学習の経験】



人権についての学習の経験は、「小学校で学んだ」が 39.4%で最も高く、次いで「中学校で学んだ」が 33.6%、「はっきりと覚えていない」が 24.4%となっている。(図表 10-2)

【図表 10-2-1 年齢別 人権についての学習の経験】

上段(人) 下段(%)		問44											
		あなたは、学校、職場および地域で、人権についての学びを経験したことがありますか。											
		【複数回答】											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
小学校で学んだ	中学校で学んだ	高校で学んだ	大学で学んだ	職場の研修で学んだ	自治体が行う講演会や研修で学んだ	市民団体等が行う講演会や研修で学んだ	その他	はいっきりと覚えていない	受けたことはない	無回答			
年齢別	20歳未満	44 100.0	33 75.0	35 79.5	29 65.9	6 13.6	2 4.5	0 0.0	0 0.0	2 4.5	4 9.1	0 0.0	1 2.3
	20歳代	83 100.0	58 69.9	49 59.0	32 38.6	18 21.7	9 10.8	1 1.2	1 1.2	2 2.4	13 15.7	0 0.0	0 0.0
	30歳代	164 100.0	112 68.3	87 53.0	43 26.2	24 14.6	39 23.8	1 0.6	1 0.6	3 1.8	30 18.3	5 3.0	0 0.0
	40歳代	205 100.0	147 71.7	97 47.3	45 22.0	15 7.3	40 19.5	12 5.9	8 3.9	9 4.4	34 16.6	2 1.0	0 0.0
	50歳代	184 100.0	105 57.1	80 43.5	38 20.7	13 7.1	42 22.8	9 4.9	15 8.2	4 2.2	30 16.3	5 2.7	3 1.6
	60歳代	301 100.0	31 10.3	44 14.6	28 9.3	12 4.0	65 21.6	28 9.3	20 6.6	1 0.3	116 38.5	48 15.9	10 3.3
	70歳以上	284 100.0	20 7.0	39 13.7	31 10.9	11 3.9	33 11.6	21 7.4	26 9.2	4 1.4	86 30.3	68 23.9	28 9.9

人権についての学習の経験を年齢別で見ると、60歳代以上は50歳代以下と比べて「小学校で学んだ」、「中学校で学んだ」、「高校で学んだ」が大きく下回り、「受けたことはない」が高くなっている。

50歳代以下の年齢についてみると、「小学校で学んだ」は40歳代以下では7割前後だが、50歳代では6割を下回っている。「中学校で学んだ」と「高校で学んだ」は年齢が上がるにつれて低くなっている。(図表 10-2-1)

【図表 10-2-2 職業別 人権についての学習の経験】

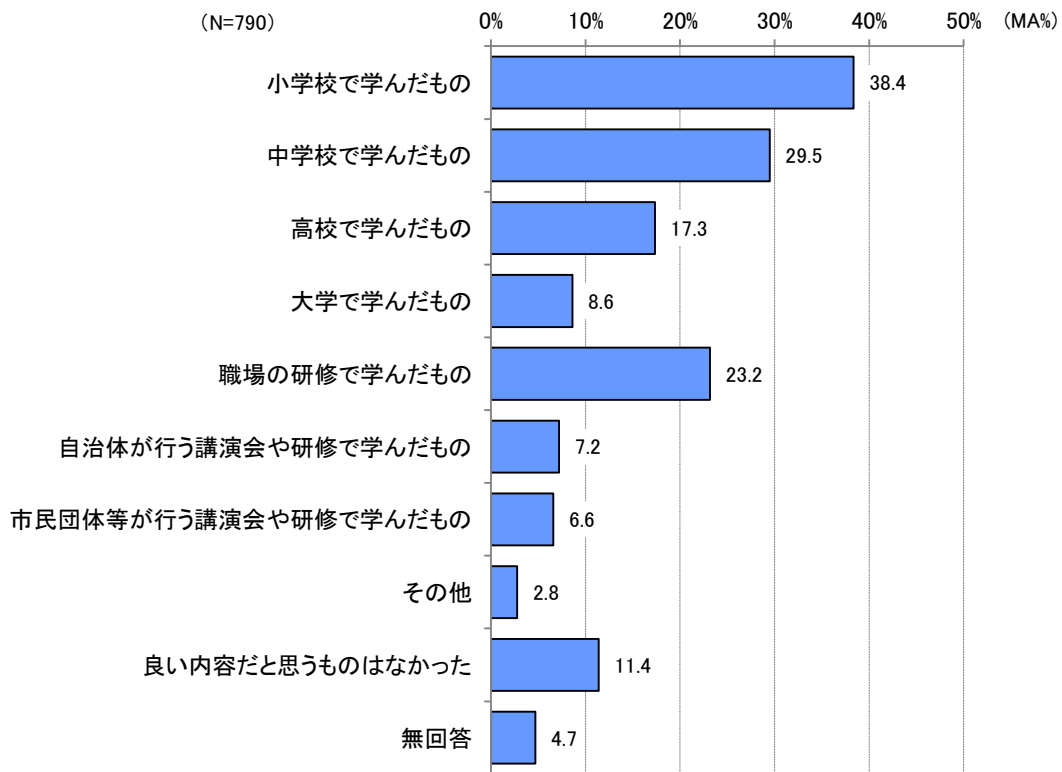
上段(人) 下段(%)		問44											
		あなたは、学校、職場および地域で、人権についての学びを経験したことがありますか。											
		【複数回答】											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
回答者数	小学校で学んだ	中学校で学んだ	高校で学んだ	大学で学んだ	職場の研修で学んだ	自治体が行う講演会や研修で学んだ	市民団体等が行う講演会や研修で学んだ	その他	はいっきりと覚えていない	受けたことはない	無回答		
職業別	自営業	111 100.0	39 35.1	33 29.7	18 16.2	8 7.2	10 9.0	9 8.1	9 8.1	1 0.9	30 27.0	14 12.6	2 1.8
	29名以下規模の民間企業	68 100.0	32 47.1	24 35.3	11 16.2	4 5.9	7 10.3	1 1.5	2 2.9	4 5.9	21 30.9	5 7.4	1 1.5
	30名以上499名以下規模の民間企業	125 100.0	73 58.4	61 48.8	26 20.8	6 4.8	18 14.4	3 2.4	3 2.4	3 2.4	27 21.6	5 4.0	1 0.8
	500名以上規模の民間企業	108 100.0	70 64.8	54 50.0	29 26.9	11 10.2	38 35.2	1 0.9	3 2.8	3 2.8	23 21.3	1 0.9	1 0.9
	官公庁	23 100.0	18 78.3	14 60.9	7 30.4	3 13.0	17 73.9	3 13.0	1 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	学校関係	39 100.0	25 64.1	22 56.4	13 33.3	14 35.9	29 74.4	4 10.3	5 12.8	0 0.0	3 7.7	0 0.0	1 2.6
	非正規雇用	171 100.0	82 48.0	64 37.4	31 18.1	13 7.6	31 18.1	8 4.7	8 4.7	3 1.8	36 21.1	14 8.2	2 1.2
	生徒・学生	56 100.0	43 76.8	40 71.4	34 60.7	10 17.9	1 1.8	0 0.0	0 0.0	2 3.6	5 8.9	0 0.0	1 1.8
	家事専業	234 100.0	78 33.3	62 26.5	39 16.7	10 4.3	25 10.7	19 8.1	14 6.0	3 1.3	65 27.8	26 11.1	12 5.1
	無職	297 100.0	36 12.1	44 14.8	30 10.1	16 5.4	51 17.2	23 7.7	23 7.7	6 2.0	95 32.0	59 19.9	19 6.4
	その他	24 100.0	10 41.7	11 45.8	6 25.0	3 12.5	3 12.5	1 4.2	1 4.2	0 0.0	4 16.7	3 12.5	0 0.0

人権についての学習の経験を職業別で見ると、500名以上規模の民間企業、官公庁、学校関係は「職場の研修で学んだ」がそれ以外の職業に比べて高く、特に官公庁と学校関係では7割を超えている。(図表 10-2-2)

(3) 人権意識を高めるうえで良い内容であった学習の場

問 45 問 44 で「1～8」と答えた方にお聞きします。
その中で、人権意識を高めるうえで良い内容だったものはどれですか。
(あてはまる番号すべてに○)

【図表 10-3 人権意識を高めるうえで良い内容であった学習の場】

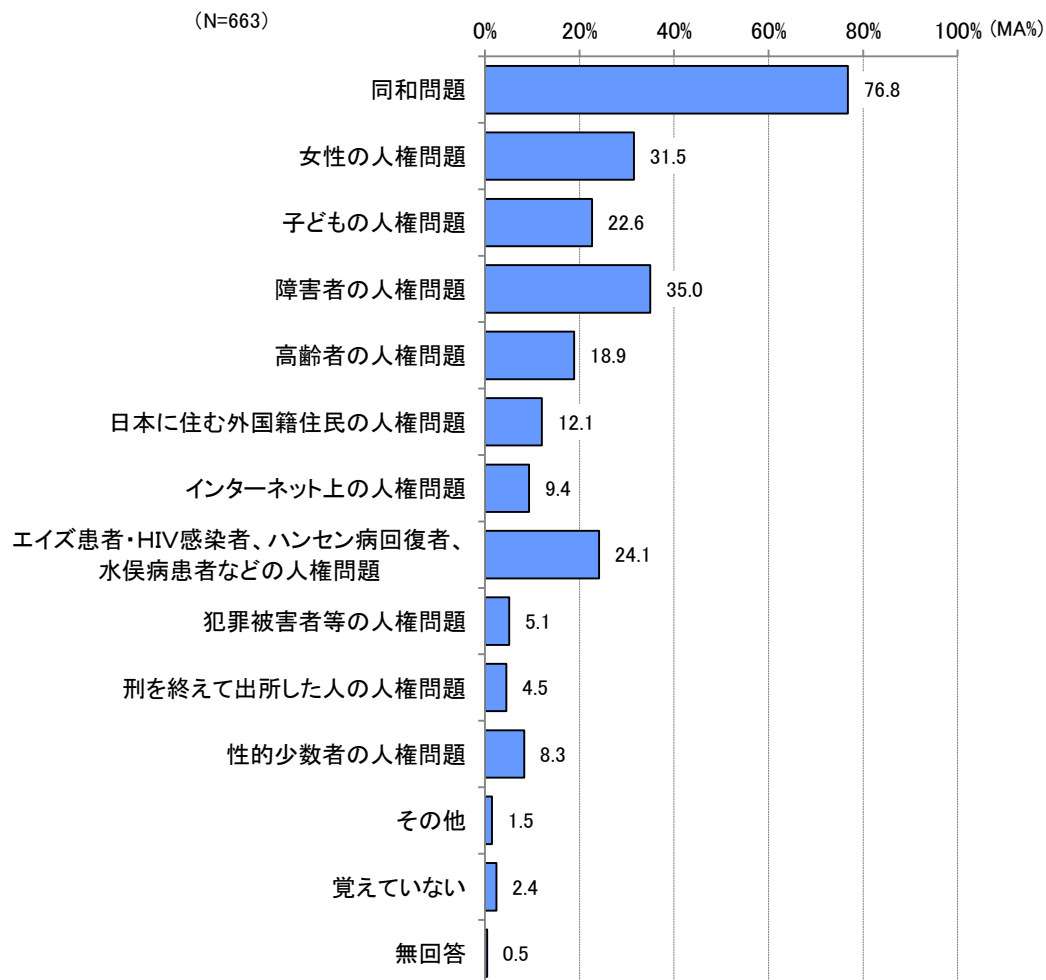


人権意識を高めるうえで良い内容であった学習の場については、「小学校で学んだもの」が 38.4%で最も高く、次いで「中学校で学んだもの」が 29.5%、「職場の研修で学んだもの」が 23.2%となっている。(図表 10-3)

(4) 人権意識を高めるうえで良い内容であった学習の分野

問 46 問 45 で「1～8」と答えた方にお聞きします。
それはどのような分野でしたか。また、どのような手法でしたか。
(それぞれあてはまる番号すべてに○)

【図表 10-4 人権意識を高めるうえで良い内容であった学習の分野】



人権意識を高めるうえで良い内容であった学習の分野については、「同和問題」が 76.8%で最も高く、他の回答項目を大きく上回っている。次いで「障害者の人権問題」が 35.0%、「女性の人権問題」が 31.5%となっている。(図表 10-4)

【図表 10-4-1 年齢別 人権意識を高めるうえで良い内容であった学習の分野】

上段(人) 下段(%)		問46														
		問45で「1～8」と答えた方にお聞きます。														
		それはどのような分野でしたか。また、どのような手法でしたか。 【分野】														
		【複数回答】														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
		同和問題	女性の人権問題	子どもの人権問題	障害者の人権問題	高齢者の人権問題	日本に住む外国籍住民の人権問題	インターネット上の人権問題	水俣病患者などの人権問題	エイズ患者・HIV感染者、ハンセン病回復者、	犯罪被害者等の人権問題	刑を終えて出所した人	性的少数者の人権問題	その他	覚えていない	無回答
年齢別	20歳未満	37 100.0	21 56.8	17 45.9	16 43.2	16 43.2	11 29.7	7 18.9	13 35.1	23 62.2	2 5.4	1 2.7	7 18.9	2 5.4	1 2.7	0 0.0
	20歳代	61 100.0	29 47.5	20 32.8	15 24.6	38 62.3	15 24.6	7 11.5	10 16.4	27 44.3	2 3.3	2 3.3	6 9.8	2 3.3	2 3.3	0 0.0
	30歳代	113 100.0	82 72.6	27 23.9	28 24.8	35 31.0	20 17.7	10 8.8	6 5.3	35 31.0	3 2.7	4 3.5	9 8.0	1 0.9	6 5.3	0 0.0
	40歳代	133 100.0	116 87.2	36 27.1	26 19.5	46 34.6	21 15.8	14 10.5	12 9.0	23 17.3	6 4.5	4 3.0	9 6.8	2 1.5	1 0.8	0 0.0
	50歳代	121 100.0	105 86.8	34 28.1	20 16.5	34 28.1	21 17.4	18 14.9	10 8.3	21 17.4	6 5.0	7 5.8	14 11.6	1 0.8	1 0.8	1 0.8
	60歳代	111 100.0	91 82.0	43 38.7	25 22.5	37 33.3	19 17.1	17 15.3	8 7.2	17 15.3	5 4.5	7 6.3	5 4.5	0 0.0	1 0.9	0 0.0
	70歳以上	85 100.0	63 74.1	31 36.5	19 22.4	25 29.4	18 21.2	7 8.2	3 3.5	14 16.5	10 11.8	5 5.9	5 5.9	2 2.4	4 4.7	2 2.4

人権意識を高めるうえで良い内容であった学習の分野を年齢別で見ると、30歳代以上では「同和問題」が7割を超え最も高く、また他の回答項目を大きく上回っている。20歳代では「障害者の人権問題」が62.3%で最も高く、次いで「同和問題」が47.5%となっている。20歳未満では「エイズ患者・HIV感染者、ハンセン病回復者、水俣病患者などの人権問題」が62.2%で最も高く、次いで「同和問題」が56.8%となっている。(図表10-4-1)

【図表 10-4-2 職業別 人権意識を高めるうえで良い内容であった学習の分野】

上段(人) 下段(%)		問46														
		問45で「1～8」と答えた方にお聞きします。														
		それはどのような分野でしたか。また、どのような手法でしたか。 【分野】														
		【複数回答】														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
回答者数		同和問題	女性の人権問題	子どもの人権問題	障害者の人権問題	高齢者の人権問題	日本に住む外国籍住民の人権問題	インターネット上の人権問題	エイズ患者・HIV感染者、ハンセン病回復者、水俣病患者などの人権問題	犯罪被害者等の人権問題	刑を終えて出所した人	性的少数者の人権問題	その他	覚えていない	無回答	
職業別	自営業	56 100.0	48 85.7	15 26.8	13 23.2	17 30.4	12 21.4	8 14.3	3 5.4	10 17.9	4 7.1	3 5.4	3 5.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	29名以下規模の民間企業	35 100.0	28 80.0	10 28.6	7 20.0	11 31.4	4 11.4	5 14.3	2 5.7	14 40.0	3 8.6	1 2.9	7 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30名以上499名以下規模の民間企業	79 100.0	62 78.5	15 19.0	8 10.1	19 24.1	13 16.5	3 3.8	3 3.8	17 21.5	0 0.0	2 2.5	3 3.8	1 1.3	3 3.8	0 0.0
	500名以上規模の民間企業	77 100.0	61 79.2	31 40.3	14 18.2	34 44.2	15 19.5	12 15.6	13 16.9	24 31.2	3 3.9	4 5.2	9 11.7	1 1.3	1 1.3	1 1.3
	官公庁	17 100.0	13 76.5	6 35.3	7 41.2	9 52.9	6 35.3	5 29.4	1 5.9	2 11.8	1 5.9	0 0.0	3 17.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	学校関係	32 100.0	28 87.5	11 34.4	18 56.3	19 59.4	5 15.6	9 28.1	10 31.3	8 25.0	1 3.1	0 0.0	5 15.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	非正規雇用	90 100.0	70 77.8	29 32.2	18 20.0	26 28.9	20 22.2	10 11.1	7 7.8	14 15.6	6 6.7	6 6.7	7 7.8	2 2.2	3 3.3	0 0.0
	生徒・学生	44 100.0	25 56.8	19 43.2	18 40.9	22 50.0	13 29.5	7 15.9	13 29.5	25 56.8	3 6.8	2 4.5	7 15.9	2 4.5	1 2.3	0 0.0
	家事専業	107 100.0	74 69.2	26 24.3	17 15.9	27 25.2	11 10.3	6 5.6	4 3.7	23 21.5	4 3.7	0 0.0	2 1.9	1 0.9	6 5.6	0 0.0
	無職	111 100.0	90 81.1	42 37.8	26 23.4	39 35.1	21 18.9	14 12.6	4 3.6	19 17.1	8 7.2	8 7.2	7 6.3	3 2.7	2 1.8	2 1.8
	その他	11 100.0	7 63.6	4 36.4	3 27.3	6 54.5	3 27.3	0 0.0	1 9.1	3 27.3	0 0.0	3 27.3	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0

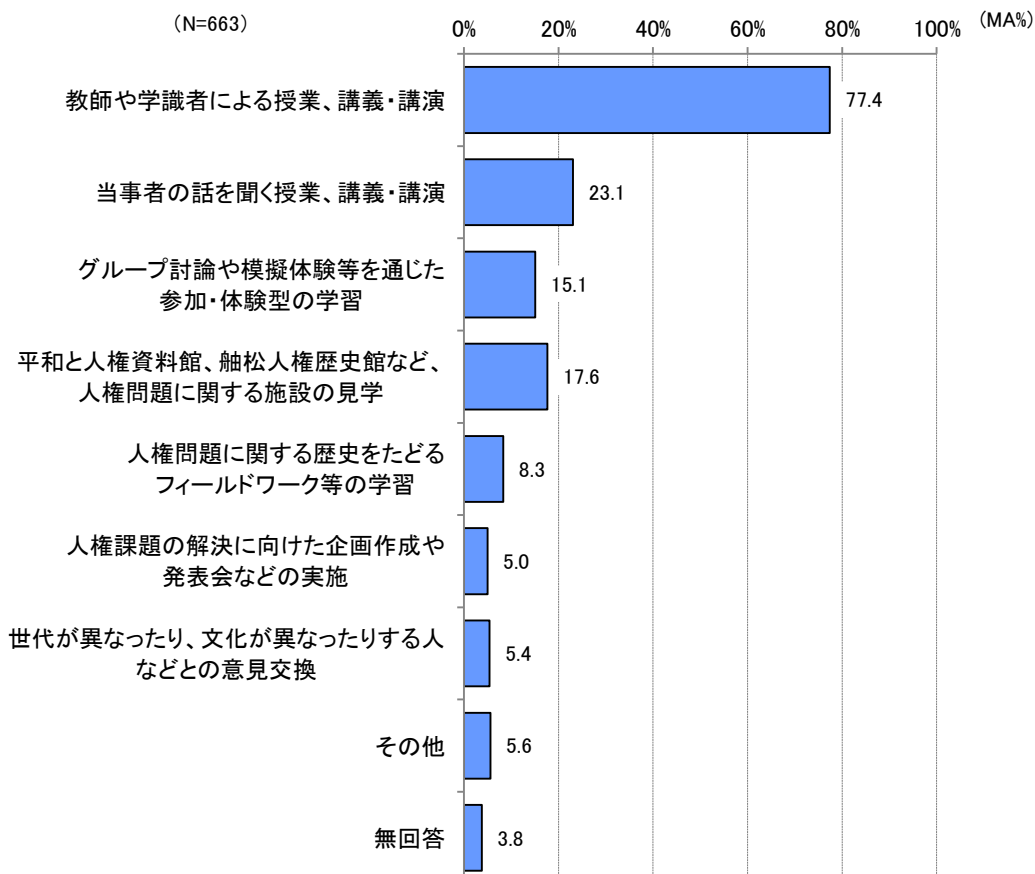
人権意識を高めるうえで良い内容であった学習の分野を職業別でみると、生徒・学生を除く職業ではすべて「同和問題」が最も高くなっている。生徒・学生では「同和問題」と「エイズ患者・HIV感染者、ハンセン病回復者、水俣病患者などの人権問題」が同率で最も高くなっている。

500名規模以上の民間企業、官公庁、学校関係、生徒・学生はそれ以外の職業と比べて割合が高い学習分野が多くなっている。(図表 10-4-2)

(5) 人権意識を高めるうえで良い内容であった学習の手法

問 46 問 45 で「1～8」と答えた方にお聞きします。
それはどのような分野でしたか。また、どのような手法でしたか。
(それぞれあてはまる番号すべてに○)

【図表 10-5 人権意識を高めるうえで良い内容であった学習の手法】



人権意識を高めるうえで良い内容であった学習の手法については、「教師や学識者による授業、講義・講演」が 77.4%で最も高く、また他の回答項目を大きく上回っている。次いで「当事者の話を聞く授業、講義・講演」が 23.1%、「平和と人権資料館、舩松人権歴史館など、人権問題に関する施設の見学」が 17.6%となっている。(図表 10-5)

【図表 10-5-1 年齢別 人権意識を高めるうえで良い内容であった学習の手法】

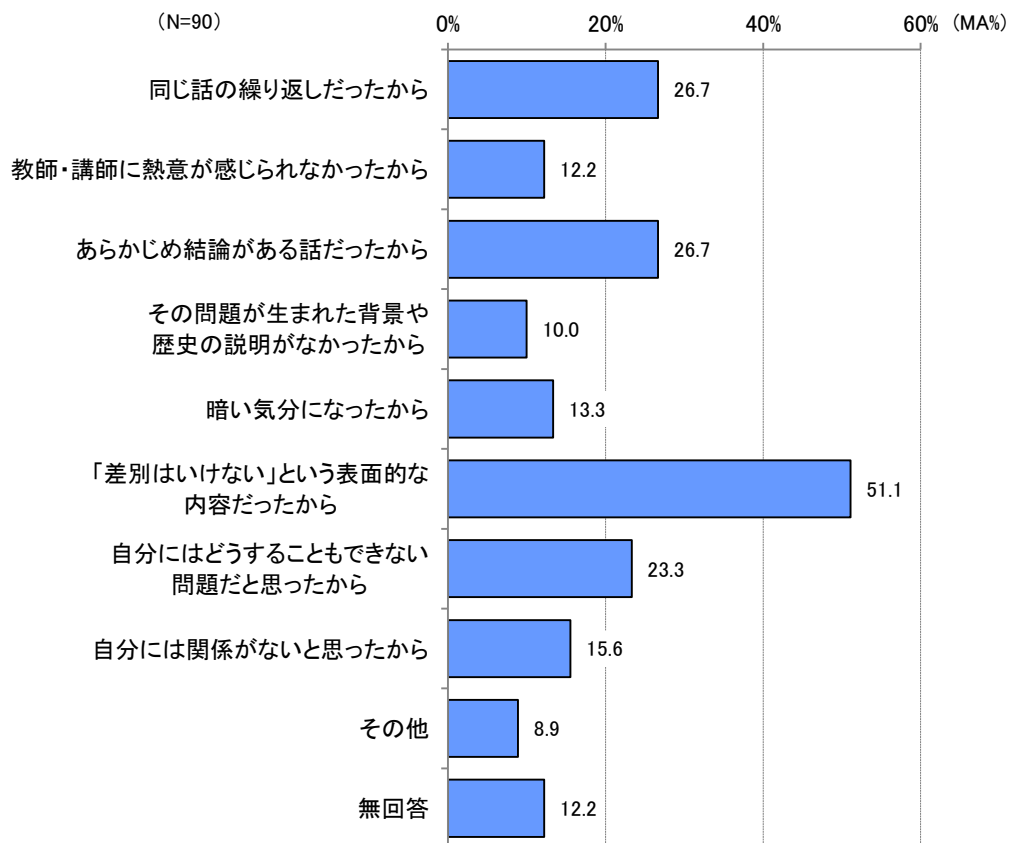
		問46															
		問45で「1～8」と答えた方にお聞きします。															
上段(人) 下段(%)		それはどのような分野でしたか。また、どのような手法でしたか。 【手法】															
		【複数回答】															
		1	2	3	4	5	6	7	8	無回答							
		業教師や講義・講義・講義・講義・講義・講義による授	業、講義・講義・講義・講義・講義・講義による授	験等を通じた参加・模	グルーブ討論や模	題に関する施設の見学	平和と人権資料館、船松	人権問題に関する歴史	ワーク等の学習	人権問題に関する歴史	た企画作成や発表会	人権課題の解決に向け	ななどの意見交換	化が異なったり、	世代的な見解	その他	
年齢別	20歳未満	37 100.0	28 75.7	13 35.1	10 27.0	10 27.0	1 2.7	0 0.0	0 0.0	2 5.4	1 2.7						
	20歳代	61 100.0	48 78.7	18 29.5	16 26.2	12 19.7	5 8.2	6 9.8	5 8.2	2 3.3	2 3.3						
	30歳代	113 100.0	91 80.5	30 26.5	17 15.0	18 15.9	5 4.4	1 0.9	3 2.7	5 4.4	5 4.4						
	40歳代	133 100.0	106 79.7	22 16.5	17 12.8	23 17.3	11 8.3	6 4.5	4 3.0	8 6.0	4 3.0						
	50歳代	121 100.0	109 90.1	24 19.8	14 11.6	20 16.5	7 5.8	6 5.0	4 3.3	6 5.0	2 1.7						
	60歳代	111 100.0	78 70.3	22 19.8	17 15.3	22 19.8	20 18.0	8 7.2	7 6.3	9 8.1	2 1.8						
	70歳以上	85 100.0	53 62.4	24 28.2	8 9.4	11 12.9	6 7.1	6 7.1	13 15.3	5 5.9	8 9.4						

人権意識を高めるうえで良い内容であった学習の手法を年齢別でみると、いずれの年齢でも「教師や学識者による授業、講義・講演」が最も高く、また他の回答項目を大きく上回っている。(図表 10-5-1)

(6) 人権意識を高めるうえで良い内容だと思う学習がなかった理由

問 47 問 45 で「9. 良い内容だと思うものはなかった」と答えた方にお聞きします。
そう思う理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

【図表 10-6 人権意識を高めるうえで良い内容だと思う学習がなかった理由】



人権意識を高めるうえで良い内容だと思う学習がなかった理由については、「差別はいけない」という表面的な内容だったから」が 51.1%で最も高く、次いで「同じ話の繰り返しだったから」と「あらかじめ結論がある話だったから」が 26.7%、「自分にはどうすることもできない問題だと思ったから」が 23.3%となっている。(図表 10-6)